

令和 6 年度芝地区高齢者相談センター 事業評価チェックシート

【事業計画・報告に掲げる大項目】

- 1 設置目的達成に向けた取組
- 2 介護予防ケアマネジメント
- 3 総合相談支援
- 4 権利擁護業務
- 5 包括的・継続的ケアマネジメント
- 6 その他の事業
- 7 運営体制

○このチェックシートは、高齢者相談センター（地域包括支援センター）が、センターの基本的な業務について、センターがセルフチェックすることで日常的に業務の実施状況を点検するとともに、年度末における点検結果を地域包括支援センター運営協議会における事業評価に反映するものです。

○高齢者相談センターは、各チェック項目ごとの実施状況に応じた選択肢を記入してください。

- a：適切にできている
- b：概ねできている
- c：できていない（実施していない）

○評価欄は、事務局がチェックシート等を元にした各センターへのヒアリングを実施後、記入します。
（S、A、B、Cの4段階評価）

※事業評価チェックシートの評価は、事業評価コメントシート（様式2）における評価のベースとします。

港 区

令和6年度芝地区高齢者相談センター事業評価チェックシート

チェック項目		高齢者相談センター記入欄	事務局 記入欄
1. 設置目的達成に向けた取組		(選択肢)	記入欄
	地域の特性に合わせた現状分析・課題分析が適切に行なわれている	a ・ b ・ c	a
	当初の計画に沿って取組が実施されている	a ・ b ・ c	a
	当該年度の業務における課題が明らかになっている	a ・ b ・ c	a
	職員全員が課題の内容を理解し、一丸となって取り組んでいる	a ・ b ・ c	b
			A

2. 介護予防ケアマネジメント		(選択肢)	記入欄	評 価
要 支 援 1 ・ 2	利用者に十分な説明を行い、適切なアセスメントに基づいたケアプランの作成が行われている	a ・ b ・ c	a	A
	必要なモニタリングと評価ができています	a ・ b ・ c	a	
	ケアプランの質を向上させる体制を整備し、職員の実務にいかせる取組を行っている	a ・ b ・ c	a	
	介護予防支援業務における利用サービス事業所及び委託する居宅介護支援事業所の選定は適切に行っている	a ・ b ・ c	a	
	委託した介護予防サービス計画の内容を確認し、適宜、委託先の居宅介護支援事業所の支援を行っている	a ・ b ・ c	a	
介 護 予 防	対象者の状態を的確に把握し、適切なケアマネジメントの目標設定ができています	a ・ b ・ c	a	
	事業実施者と連携し、適切なモニタリングや評価ができています	a ・ b ・ c	a	
	評価が困難な事例等について情報収集・共有し、ケアマネジメントを行っている	a ・ b ・ c	a	
	介護予防の必要性など、普及啓発を日常的に行っている	a ・ b ・ c	a	

3. 総合相談支援		(選択肢)	記入欄	評 価
高齢者のあらゆる相談を受け入れられる体制が整っている	a ・ b ・ c	a	A	
個別訪問等により、地域の高齢者の状況把握を行っている	a ・ b ・ c	a		
困難事例の対応への手続きや流れを職員全員が理解し適切に対応できる	a ・ b ・ c	b		
地域の社会資源やニーズを把握し、地域のネットワーク構築を行っている	a ・ b ・ c	a		

4. 権利擁護業務		(選択肢)	記入欄	評 価	
成年後見制度等の利用への支援・啓発を行っている	a	・ b	・ c	a	A
高齢者虐待の通報に対し、適切に対応している	a	・ b	・ c	a	
高齢者の消費生活被害の防止に関する啓発等を行っている	a	・ b	・ c	a	

5. 包括的・継続的ケアマネジメント		(選択肢)	記入欄	評 価
包括的・継続的ケアマネジメントの体制を構築し、関係機関と連携して対応している	a ・ b ・ c	a	A	
地区内の介護支援専門員（居宅介護支援事業所）を把握し、ネットワークの構築を図っている	a ・ b ・ c	a		
介護支援専門員を対象とした研修や事例検討会を実施するなど、支援体制を構築している	a ・ b ・ c	a		

6. その他の事業		(選択肢)	記入欄	評 価	
介護予防普及啓発事業を実施している	a	・ b	・ c	a	S
認知症サポーター養成講座を実施している	a	・ b	・ c	a	
港区独自事業の実施にあたっては、関係部署と連携して実施している	a	・ b	・ c	a	
港区が実施する事業等へ、関係機関と連携して実施している	a	・ b	・ c	a	
認知症予防の啓発及び認知症高齢者への対応を行っている	a	・ b	・ c	a	

7. 運営体制		(選択肢)	記入欄	評価
配 人 置 員	地域包括支援センターとして、専門職種が適正に配置されている	a ・ b ・ c	b	B
	指定介護予防支援事業所として、専門職種が適正に配置されている	a ・ b ・ c	b	
体 制	各職種の専門性を活かした、チームアプローチの体制ができている	a ・ b ・ c	b	
	センター長及び管理者が日頃の業務内容を網羅的に把握している	a ・ b ・ c	a	
	センター長及び管理者が業務評価（セルフモニタリング）を定期的に行っている	a ・ b ・ c	a	
	センター内での会議、ミーティング等を通じて職員間の情報の共有ができている	a ・ b ・ c	a	
	職員がセンターの設置目的、区立施設（指定管理制度）であることを正しく理解している	a ・ b ・ c	a	
	職員の研修履歴や年間の研修計画を作成するなど、職員が計画的に研修参加できるよう配慮している	a ・ b ・ c	a	
	日常業務における課題や反省点等を共有し、センター業務の改善につなげている	a ・ b ・ c	a	
	緊急時対応マニュアル等を整備し、緊急時に迅速かつ的確な対応が行える体制を整備している	a ・ b ・ c	a	
	災害時対応マニュアル等を整備し、災害時に迅速かつ的確な対応が行える体制を整備している	a ・ b ・ c	a	
	震災等の発生を想定した「業務継続計画」を策定している	a ・ b ・ c	a	
	苦情解決についてのマニュアル等を整備し、的確な苦情対応が行える体制を整備している	a ・ b ・ c	a	
	職員が個人情報保護に関する法令等を理解し、遵守している	a ・ b ・ c	a	
	相談時に相談者のプライバシーを確保している	a ・ b ・ c	a	
	特定の団体等に有利又は不利にならないよう、中立かつ公平な運営がなされている	a ・ b ・ c	a	
施 設 運 営	物品管理責任者を定め、区から貸与されている備品を把握し、適切に管理している	a ・ b ・ c	a	
	施設及び付帯設備を常に良好な状態で維持及び保全並びに保守管理を行っている	a ・ b ・ c	a	
	水道、電気等の使用について、エネルギー使用量を把握し、施設の省エネルギー化に取り組んでいる	a ・ b ・ c	a	
	指定管理料や利用料金等、日常から適切な会計処理が行なわれている	a ・ b ・ c	a	
	指定管理業務の経費にかかる関係書類を適切に保管している	a ・ b ・ c	a	
	労働関係法令や就業規則に則り適切な運営が行なわれている	a ・ b ・ c	a	

令和6年度芝地区高齢者相談センター 事業評価コメントシート

高齢者相談センター記入欄				運営協議会 記入欄	
項 目	(1) 今年度の取組について、良かった点、工夫した点など	(2) 次年度への課題と対応	評 価	コ メ ン ト	
1	設置目的 達成に対する取組	<ul style="list-style-type: none"> ・地域課題を協議・検討し、新たな区民向け講座の企画を行いました。 ・企業に向けた認知症サポーター養成講座を多数開催しました。 ・高齢者の見守りシステムの構築のため、社会福祉協議会等との連携を継続実施しました。 	A	<p>新たな区民講座として「介護塾」を開催しました。</p> <p>また、企業が集積する芝地域の特性を活かし、認知症サポーター養成講座を通じて企業向けの認知症啓発も実践しました。</p>	
2	介護予防 ケアマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> ・アセスメントを丁寧にを行い、ケアプラン点検を定期的に実施しました。 ・3か所で実施しているオレンジカフェの内容を共通にし、どの地域に住んでいる区民に対しても同一の内容を提供できるよう工夫しました。 ・地区地域ケア会議で連携を深めるため、薬剤師会と関係機関連携会議を実施しました。 	A	<p>区域に50か所ある薬局と協力して介護予防を推進するため、薬剤師会との連携を更に強化しました。</p> <p>また、地域で活動したい介護予防リーダーへ講座企画の助言をし、支援することができました。</p>	
3	総合相談 支援	<ul style="list-style-type: none"> ・芝地区総合支所との定期的な会議で困難事例について情報共有し、終結までの対応ができました。 ・ふれあい相談員、いきいきプラザと連絡会を定期的に行い、支援に繋がっていない高齢者の迅速な対応ができました。 ・認知症、精神疾患が疑われる高齢者に対し丁寧にアセスメントを行い必要な支援に繋がりました。 	A	<p>困難事例に総合支所と連携して対応しました。</p> <p>また、認知症や精神疾患が疑われる高齢者に対して粘り強く訪問し、関係を築くことで、必要な支援へ繋げることができています。</p>	
4	権利擁護 業務	<ul style="list-style-type: none"> ・権利擁護に関する啓発活動を行いました。 ・認知症のある人の支援では関係機関と連携し、必要な支援へ繋がりました。 ・虐待相談に対し迅速に協議し、慎重に訪問対応等を行いました。また、芝地区総合支所や警察等関係機関と協働し迅速に対応しました。 ・虐待対応や成年後見制度研修に参加し、職員の資質向上に努めました。 	A	<p>認知症のある人への対応で、関係機関と横断的に対応していた姿勢は評価できます。</p> <p>また、虐待対応や成年後見制度に関する外部研修に積極的に参加していました。</p>	
5	包括的・継続的 ケアマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関と連携し、多様な相談事例に慎重に対応しました。 ・ケアマネジャーからの相談に真摯に向き合い、課題解決まで協議・検討を重ねました。 ・港区のケアマネジャーの質の向上へ繋がられるよう外部講師や区の担当者を招いた研修会を開催しました。 	A	<p>区域のケアマネジャーの相談を受けることや意見交換会、研修などを通じて、必要な支援をしていました。ケアマネジャーのなり手不足などに対する課題意識を持っていることは評価できます。</p>	
6	その他の 事業	<ul style="list-style-type: none"> ・男性向け講座を定期的に実施し、年々参加者数が増加しています。運営の見直しも行い、「まちあるき」への企画の発展もできました。 ・介護家族の会を毎月実施し、周知活動を継続しました。 ・企業から「介護離職課題」について研修依頼を受け、積極的に連携を図りました。 	S	<p>「江戸カフェ」といった男性向けの講座の参加者は40名程になり一定の成果が出ています。</p> <p>また、企業向けの「介護離職」に関する研修も実施することができ、芝地域の特性に合った活動ができています。</p>	
7	運営体制	<ul style="list-style-type: none"> ・職員間のミーティングで情報共有を徹底しました。 ・ふれあい相談室やいきいきプラザ、デイサービスも高齢者相談センターと同一法人が運営している強みを生かし、地域の高齢者に対して切れ目のない支援体制づくりに努めました。 ・研修に積極的に参加し業務への意識向上につなげました。 	B	<p>高齢者相談センターをはじめとした関係機関が同一法人と運営されているメリットを活かした活動は評価できます。</p> <p>一方で、職員の定着率が課題であり、今後は新入職員へのフォローを手厚くするようお願いします。</p>	
8	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民との繋がりをより意識するとともに、接点や参加の機会を重視することで、連携を一層強化していきます。 ・虐待対応について、区民の不利益にならないよう、区、社会福祉協議会と協働し、チーム支援を強化していきます。 ・生活支援コーディネーターやコミュニティソーシャルワーカーと協働した、地域の新たな見守り体制づくりへの協力を進め、地域包括ケアに向けた取組を強化していきます。 ・地域特性として企業が多いため、企業との連携を拡充するような取組を今後も進めていきます。 		<p>地域住民をはじめとして関係機関と連携しながら、課題解決に取り組むことが出来ました。</p> <p>また、大企業が集積する芝地域の特性を考慮した活動もできています。</p>	